




内シヤント造設術を受ける患者様へ

入院診療計画書

作成日:

ID		患者様名		病名	<input type="checkbox"/> 慢性腎不全	<input type="checkbox"/>	特別な栄養管理の必要性	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有	☆退院指導☆	
看護師		薬剤師		栄養士			リハビリ計画	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有		外来診察担当医
理学療法士				手術日		時	総合的な機能評価			()
日付					～		～		～	外来受診日
経過	入院日(前日)		手術前手術当日手術後		術後 1日目～2日目		術後 3日目～4日目		術後 5日目～6日目	退院日 術後 7日目
目標	不安を医療者に伝えることができる		出血・腫脹・痛みがあれば医療者に伝えることができる シヤント肢に負担をかけずに経過できる		出血・腫脹・痛み、シヤント音聴取、スリル(血管の拍動・振動)の触知ができない場合は、医療者に伝えることができる シヤント音とスリル触知が確認できる		シヤント音聴取不可やスリル触知不可など、シヤントラブルについて理解し、対応方法が言える		シヤント管理方法が言える	退院時、シヤント管理方法や注意点が言える
点滴	ありません		手術30分前にシヤント造設側と反対の手背に持続点滴を開始します		シヤント造設後、シヤントに問題がなければ持続点滴は終了します 医師の指示で、持続点滴が継続する場合もあります そのときは説明を行います		ありません			
内服	手術前は抗凝固剤・抗血小板薬の内服は中止です その他持参薬は、医師の確認後に服用について指示があります		指示内容の内服を継続します				指示通り内服を継続してください 中止薬についても再開日をその都度説明します お薬の追加や変更時は医師から説明します			退院時の お薬 有・無
検査					ありません					
処置	体重測定を行います				毎日午前中に体重測定を行います					一生活の注意点一
	医師の診察にてシヤント造設場所を決定します 検温があります				検温は状態に合わせて適宜行います				医師の診察で シヤント観察を行います	・「内シヤントを作られた患者様へ」のパンフレットに記載しているシヤント管理注意事項内容を 確認しましょう ・シヤント肢の圧迫は避ける、重たい荷物などは持たない、採血や血圧測定は止めましょう ・毎日シヤント音・スリル触知の確認を必ず行いましょう ・入浴時は、抜糸まで防水テープなどで保護をしましょう ・傷の抜糸は術後10日から14日で外来受診の際に実施予定です
活動	制限はありません		術室後は歩行可能になります シヤント肢はシーネで固定していますので、動きにくい場合はお知らせください 安全面を考慮し見守ります		術室後は歩行可能になります シヤント肢はシーネで固定していますので、動きにくい場合はお知らせください 安全面を考慮し見守ります		病棟内は自由です シヤント肢のシーネ固定のため手が動きにくい場合は、お手伝いしますのでお知らせ下さい			
食事	腎臓食・透析食 _____kcalを摂取するため 病院食以外の間食や持ち込み食については主治医の許可が必要です		昼食は摂取できます 水分は手術前の13時まで可能です 手術時間に合わせて食事、水分可能時間をお伝えします		夕食は摂取できます シヤント肢が利き手となる場合は、シーネ装着や除去のお手伝いを行います		栄養指導のご希望があればお知らせ下さい			一シヤント管理の注意点一
清潔	ありません		午前中のみシャワーができます 歯磨き・髭剃り・洗髪等は手術前にすませておいてください		手術の後はシャワーはできません		シーネを一時的に外し、傷を保護を確認しシャワーを行います 洗髪やシャワーを行う際にお手伝いが必要な場合は、医療者までお知らせください			・シヤント音が聴取できないやスリル触知できない、また、シヤント肢が出血した場合は、綺麗なタオルなどでしっかりと押さえて止血し、病院を受診してください ・上記の症状があれば、下記に連絡し相談をしてください
排泄	医師から指示が出た場合は着床開始となります		手術前に排便をすませておいてください		術室後トイレ歩行は可能です お手伝いが必要な場合は、医療者にお知らせ下さい 着床を継続します		指示がある場合は退院まで着床を継続します			
指導	医療者から術前術後の入院生活について説明します 「内シヤントを作られた患者様へ」についてのパンフレットをお渡しします 手術後説明を行いますので、目を通しておいてください		不安があればいつでも医療者にご相談ください		傷が痛むときは鎮痛剤を使用することができます 痛みは我慢せずお知らせください シヤント肢を下にする腕枕や横を向く姿勢はしないで下さい また、出血や腫れがあればお知らせください 気になることがあればいつでもナースコールを押してください		術後3日目から柔らかいボールを使用し、シヤント肢の掌握運動開始します 腫れや痛みが強い場合は、掌握運動を延期します パンフレットを使用し、下記の内容の指導を行います (/):「内シヤントとは」 (/):「体重管理、排尿について」 (/):「内シヤントの管理について」 (/):「水分管理、塩分管理」 (/):「これだけは注意しよう」 (/):「日常生活の注意点」		シヤント管理について 不明点があれば、退院までに看護師まで声をかけてください	
説明	外来で渡された同意書類は医療者へお渡し下さい 手術室看護師からの説明がありますので 自室で待機してください ひげ剃り・爪切りをしておいてください 手の爪のマニキュアはとってください		指輪・時計・入れ歯・ヘアピン・溜布類は外しておいてください		麻酔は局所麻酔のため、意識がはっきりしたまま帰室します 手術後医師が結果を説明します シヤント造設ができれば、1階の売店で聴診器の購入をしましょう 手術後、出血、腫脹、熱感やシヤント音の聴取不可、触知不可があれば看護師までお知らせください		シヤントの出血、腫脹、熱感がある場合、シヤント音・スリル触知ができない場合、又は弱い場合は、すぐに医療者へお知らせください シヤント肢のシーネ固定は主治医の許可あるまで継続します 夜間はシーネ固定して就寝となります 分からない内容や不安な事があれば、いつでも医療者までお知らせください		午前中の退院となります 精算については当日事務員が病室へお伺い説明致します	緊急連絡先 072-469-3111 平日 8:45～17:00 Cブロック 時間外は救急外来へ連絡してください

※上記内容は現時点で考えられるものであり、今後変わり得る場合があります。

りんくう総合医療センター 8山病棟 作成：2016.02
改訂：2025.12

説明日: 20 年 月 日 主治医(説明医):

Ⓜ (署名もしくは捺印)

完成後はコピーを1部取り、病棟用ファイルに入れ、原本を患者様にお渡し下さい。

本人/家族等:

続柄: